

被災地における福祉住環境整備 の取り組み

めざしたもの

石巻圏域の福祉避難所や応急仮設住宅(10344戸)

環境適応が難しい障害者, 高齢者,
子ども等の生活の自立, 生活のしにくさ
の改善

問題点・課題

家ではできたことが避難所や仮設住宅ではできない

環境がつくる**障害** (日常生活機能の障害)

・動きにくくなる原因は、個人の心身の状況から生じたものではなく環境の変化(物的・人的・社会的環境)

……身体機能の低下, 介助量増大の可能性

取り組みのコンセプト

環境がつくる**障害**



できることができる, 障害をつくらない
環境づくりの支援

= **福祉住環境整備**

- ・**ユニバーサルでバリアフリーな視点**
全体的な底上げと個別性への配慮

石巻専修大学体育館

7月に38度を記録した



津波により、多くの方が住み慣れた家や仕事の拠点を失った。しかし、**適応力**が高い者は対応できる。

石巻合同庁舎 2階から



合同庁舎周囲は水没し，次々と住民が避難
1階にある地域保健福祉部は完全に水没

5階大会議室には二百人超が避難



石巻合同庁舎避難所の様子

高齢者，在宅酸素・糖尿病等の慢性疾患者
スペース確保困難，寒さ，飢え，水不足

4階会議室
眠れない、動けない



石巻合同庁舎避難所の様子

狭いスペース，いすの上での就寝，遠いトイレ
(水洗なし)，座りっぱなし

4月の避難所状況
学校の再開はさらに環境が悪化へ



床上の生活、狭い通路、ベッドがない、トイレが遠い

一時的な制限→身体機能の低下・動作困難
→制限から「障害」

石巻市

桃生農業者トレーニングセンター 福祉避難所の設置へ

環境の悪い避難所から要介護者を集約

保健福祉事務所と石巻市で
協働で設置の準備、運営

35人の要介護者とその家族を受け入れ

4月に
石巻市では新たに福祉避難所を設置



石巻市と保健福祉事務所スタッフで一から
設置の準備を開始

利用者全ての方が動きやすいために
福祉住環境の視点で準備



通路や動線の検討，ベッドや歩行補助具，簡易トイレ，
浴室等の環境を整備

ユニバーサルな対応
全体的な取り組み



居室スペースと食事スペースを分離
活動性の確保

ユニバーサルな視点の取り組み



全員に電動ベッドを配置

個々の利用者への適合
バリアフリーな対応



電動ベッドの調整，個別の福祉用具，介助方法についてはリハビリの専門職が対応

自衛隊の風呂の中
高齢者や障害者はいろいろ



問題は、浴槽の高さ



55cmの浴槽，つかまるところがない
高齢者にはきつい

福祉避難所の浴室



既存の浴室に福祉用具を導入

福祉避難所の浴室入り口の改修



浴室入り口の段差の解消
車いすの介助者も可能に

応急仮設住宅

東松島市の入居者状況調査(6-8月)

- ・日本社会福祉士会による約600世帯の訪問調査
- ・90戸の入居者に入浴や玄関の出入り等の移動に支障

応急仮設住宅入居者から寄せられた相談例

- ・「浴槽が高く、湯船に入れない。」
- ・「浴室の出入り口の段差がまたぎにくい。」
- ・「浴槽に入れず、シャワーのみ。」
- ・「浴槽が深く、子どもを入れることができない。」
- ・「トイレの扉が内開きで、狭いために閉められない。」
- ・「玄関の段差のため、介助なしでは外出できない。」
- ・「通路の砂利敷きのため、シルバーカーが使えない。」

対応策の検討と対応（8月～9月）

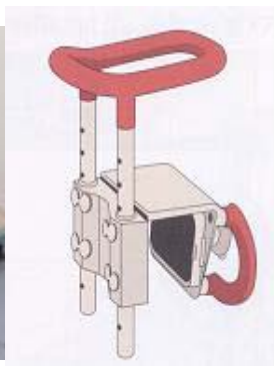
（東松島市・保健福祉事務所・介護研修センター）

東松島市のすべての仮設団地を訪問調査

- ・共通する課題の把握
- ・全体的な対応が可能な対応策の立案



段差解消すのこの設置



浴槽用手すりの取り付け



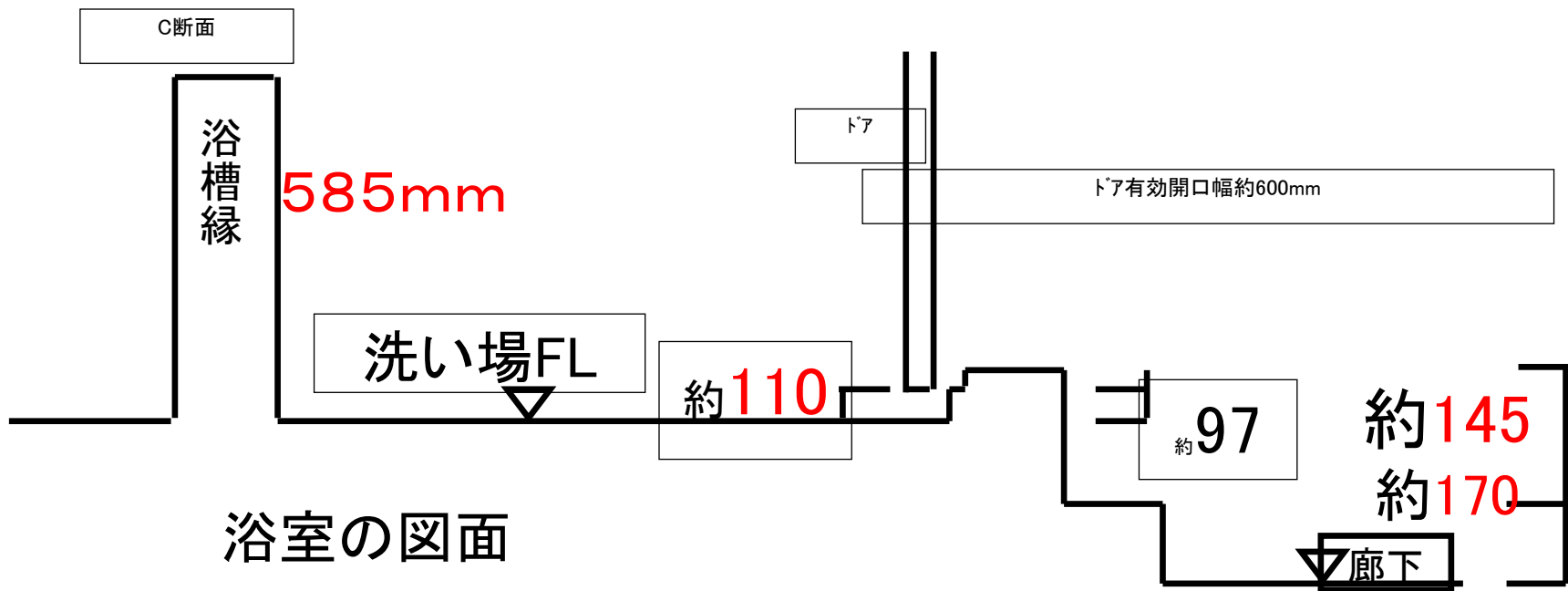
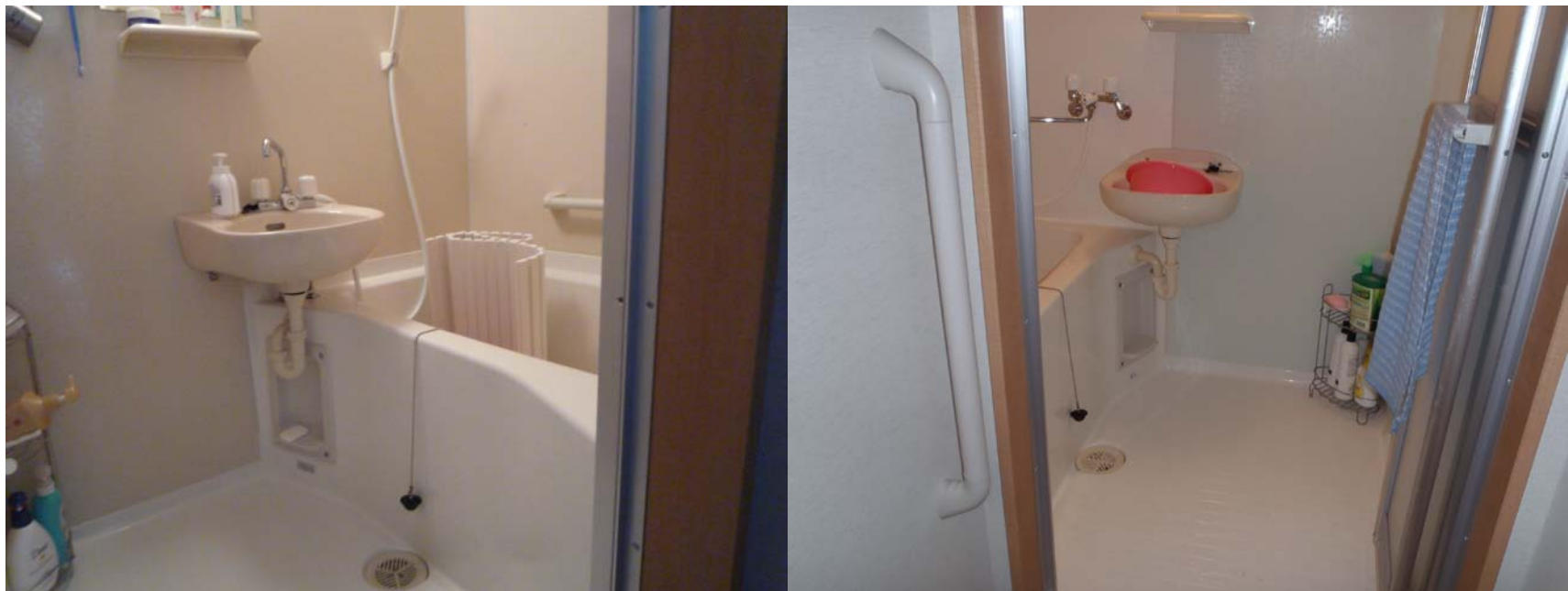
入浴用いすの設置



浴槽内いすの設置

洗面器の撤去

多くの仮設住宅に対応が可能な**ユニバーサル**な対応策



車いすの使用者以外にも、玄関や通路の移動が困難な方は多い



玄関入り口の段差
出入りが困難・手すりはないが…

手すりの位置の適正化，スロープの設置

リハビリ専門職ボランティアによる個別訪問



入居者の個々の活動状況と
対応の必要性の把握

⇒ 対応へ

おとしより、体の不自由な方、妊婦さん、乳幼児をもつご両親など

仮設住宅の「使いにくさ」にお困りの方へ

ご自身の**費用負担なし**で解決できる方法があります。

玄関、お風呂、トイレなど、仮設住宅での日常生活上の動作にご不便がある場合、公費負担でそれを解決する道具（福祉用具など）の利用・設置ができます。具体的な対応方法の例をご紹介します。



玄関まわりで困っていませんか？

[現状]

段差①や
通路の砂利敷き②で、
お困りの場合



[改善後]

スロープ①の設置や
舗装②で利用しやすくなります。



入居者のニーズ把握の支援
潜在化するニーズの顕在化
圏域全体への対応



入浴で困っていませんか？

- 浴槽のへりが高く、またぎにくい
- 洗面台があることでお風呂場が狭く感じる
- 浴室の出入り口の段差などが不便

いくつかの用具を組み合わせることで、入浴動作がしやすくなります。

代表的な用具と使い方は以下のイラストを参考にしてください。

ユニットバスに取り付けられる
手すり①の設置。

洗面台を撤去し、
広く使うことも
考えてみてください。



出入り口の段差に合わせて
すのこ②を敷きつめることで、
浴槽のへりが低くなり、
不便さが解消されます。



浴槽用手すり③は、

へりに挟み込んで取り付けられ、
浴槽を傷つけることなく自由に
脱着ができます。



シャワー用いす④の利用で

楽に体が洗えます。
座面高さを変えられたり、
背もたれや肘かけがついている
タイプもあります。



浴槽用いす⑤は、

踏み台となって浴槽の
出入りをしやすくしたり、
浴槽内に座った時の足の
曲がりを楽にします。
吸盤付きで高さの調整が
できるタイプもあります。

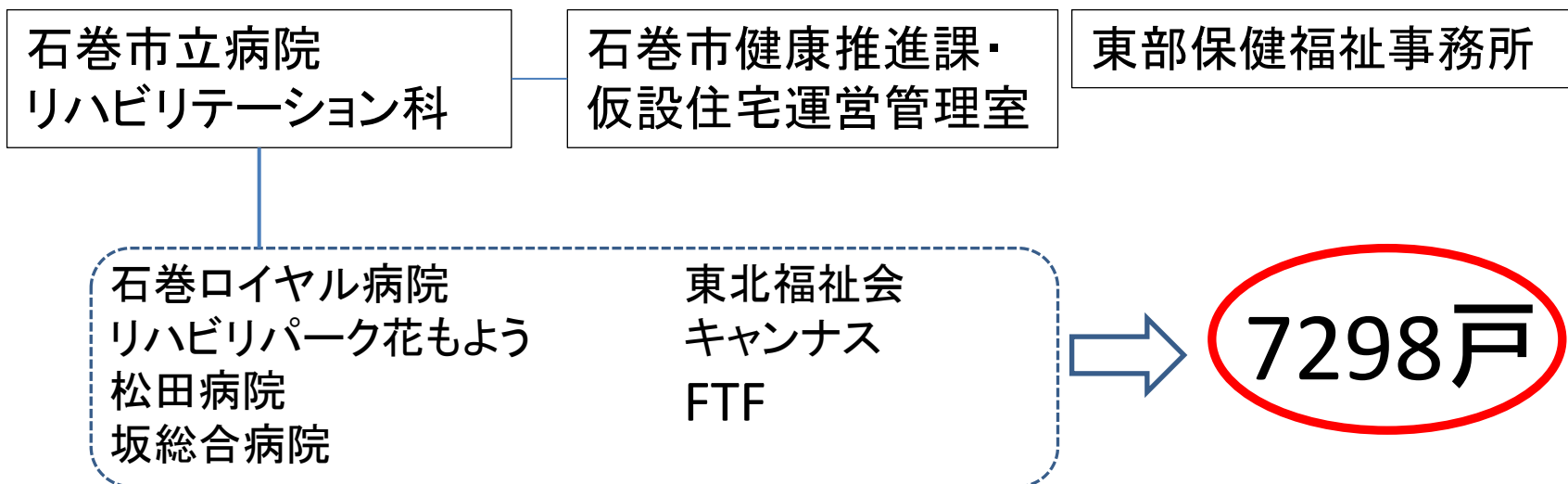


圏域全体の対応 体制整備への支援 (東松島市との取り組みを生かして)

- 復興基金事業

(健康支援事業リハビリテーション支援事業)

石巻市



環境がつくる**障害**

できることができる, 障害をつくらない
環境づくりの支援

= **福祉住環境整備**

・ユニバーサルで

バリアフリーな視点

全体的な底上げと個別性への配慮

生活不活発になる環境からの脱出！



福祉住環境整備を、
ユニバーサルでバリアフリーな視点で
環境が変化する**復興住宅移行**にも必要